

■フィリピン：2015年までの新規発電所建設計画

エネルギー省（DOE）は2013年1月15日、発電事業者から提出された2015年までの新規発電所の建設計画の集約結果を発表した。それによると、ルソン地域で330万5,800kW、ビザヤス地域で54万4,000kW、ミンダナオ地域で106万8,000kWの電源開発が計画されている。このうち具体化しているのは、ルソン地域72万1,500kW分、ビザヤス地域3万2,000kW分、ミンダナオ地域30万500kW分となっている。